

蒲郡駅事件第1回公判

5月27日、私たちの闘いによって、主任レポートの取り扱いで窮地にたたされた会社がデッチ上げた「蒲郡駅デッチ上げ裁判」の第1回公判が名古屋地方裁判所で行われました。

会社と警察権力による不正を絶対に許さないと、傍聴に160名を超える仲間たちが結集し、名古屋地裁では異例の傍聴席割り当ての抽選が行われました。

私たちが圧倒的に多数の傍聴を獲得し、その中で加藤誠二さんは、堂々と「事実無根、会社と権力による物言う、闘う労組破壊攻撃の何ものでもない！」との陳述を声高らかにあきらかにしました。

会社のやりたいことは、
言うことに従え！社員は一切物言うな！である

